

将来像（案）の検討

A	人と自然が輝き 誰もが生き生きと暮らせるまち
	(理由等)人口が少なくなる中、産業等の担い手不足について話し合ってきた。自然も良いが主役は人。誰もが主役のまちづくり ⇒ 人を前に出す。生き生き ⇒ 活力、躍動感
B	自然にいだかれ 結のころあふれる やすらぎのまち
	(理由等)大野らしいキーワード 結、自然、やすらぎ
C	人とまちが輝く 結のころあふれる 越前おおの
	(理由等)事務局 2 案を基に検討。「結のころ」と「やすらぎ」は同じような意味をもつ。
D	人が 地域がつながり 住み続けたいなるまち
	(理由等)2回の部会 内容を立ち返り検討。自然、人、地域 「住み続けられる」が最も重要。長すぎず、伝わりやすいものにしたい。「住み続けたいなる」⇒能動的なものにした。これからの10年はスピードが速いので継続的に生き抜いていくことを象徴。多様性にもつながる。
E	キラリ 生き活き 結の故郷
	(理由等)人の心に残るもの。伝わりやすいもの。具体的な名詞を入れないことで、産業、人など何にでも使える。結の故郷⇒住み続けたいなるまち。